

R7年度

福祉防災ボランティア研修会

報告

ともに支え合う地域づくりにむけて・・・



2月1日(日)地域福祉センターにて、「福祉防災ボランティア研修会」を開催しました。当日は2部制で実施し、1部では実際に南海トラフ大地震が発生したことを想定して、役場総務課・福祉課含め、社協が担う「災害ボランティアセンター」立ち上げまでの職員訓練をロールプレイング形式で行いました。

2部では地域の方々も参加して下さり、和歌山県社会福祉協議会・南出考氏より、社協が災害ボランティアセンター運営を担う意義、地域での「ささえあい」の重要性をお話いただきました。その後、研修に参加された皆さんと共にボードゲームを使用したHUG訓練を通じて、避難所運営シミュレーションをしながら意見交換し、災害時には平時からの取り組み、そして地域のつながりが最も重要であるということを確認できた研修となりました。

災害VC立ち上げロールプレイング



講演「災害VCの役割・運営スタッフとしての心構え」

HUG訓練「避難所運営体験」



参加いただいた皆さまからのお声



- 地域福祉センターでの避難所開設訓練をしてみたいです。実際にどの部屋を何に使うかを想定しておくことで、発災時に活動しやすいかなと思います。
- 災害ボランティアセンターにも大きなケガではないが傷を負った方が来る事もあるかと思えます。看護師さんがいなくてもおこなえる止血や応急処置訓練が出来ればと思えます
- 自主防災組織関係の方や区長さん、学校の先生、近隣の施設や公共施設の方など参加してもらえたらと思いました。

【貴重なご意見、誠にありがとうございました。
安心・安全なまちづくりのため、今後とも皆さまのご協力よろしくお願ひいたします。】

